


分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実
<b>5年後の目標</b>		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	介護予防事業		介護	3	1	1	99,648,610	高齢介護課
					2	2		
					4	1		
事業の概要								
高齢化の急速な進展により、介護保険・生活支援サービスの需要の増加が見込まれるため、介護保険制度改正に伴う新総合事業への移行を受けたNPO法人などの地域資源を活用した介護予防の取組を更に推進します。また、老人クラブなど地域主体の取組を支援し、身近な地域で介護予防に取り組める環境を整備します。								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	介護予防教室等の参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	205(平成26年度)	目標	3,600	3,700	3,900	4,200	4,500
		実績	4,726	5,557			
<p>・平成29年度よりNPO法人などの地域資源を活用した介護予防の取組を更に推進する介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が始まり、介護予防の啓発のための健康フェスタを12地区で16日間、自分サポーター養成講座を8回実施しました。健康フェスタを様々な地域で実施することで、新たな対象者に対する介護予防への啓発を行っています。</p> <p>・老人クラブや一般の高齢者を対象とした4日間の介護予防リーダー研修を1回、講演会等を7回実施しました。</p>						<p>健康フェスタの様子</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁	
		—	—		—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・目標を大きく上回る参加者数となりました。健康フェスタや自分サポーター養成講座を通じ、介護予防への関心が高まっていると考えています。</p>	
課題等	<p>・より予防効果が高い状況で取り組めるよう、早期からの介護予防への興味、関心を持ってもらう必要があります。</p> <p>・地域で継続的に活動を行うため、人材育成や実施場所の確保を続けていく必要があります。</p>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・地域の団体や介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)を実施する事業者等と連携し、より早い時期から介護予防を実施するため、介護予防教室等や、養成したボランティアを通じて啓発を行い、目標の達成と、介護予防教室等の内容充実に努めます。</p>

分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実
<b>5年後の目標</b>		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	高齢者健康・生きがいづくり推進事業	会計	款	項	目	29,646,474	高齢介護課
		一般	3	1	2		
事業の概要							
地域団体やボランティアとの連携により、高齢者の閉じこもり・認知症予防や生きがいづくりを目的としたカフェ・サロン等高齢者の集える場の整備を促進します。また、元気な高齢者自身がボランティアとして事業運営に参画することで、社会参加を促進します。							


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	高齢者の健康・生きがいづくりを目的としたカフェ、サロン数				単位	か所
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	28(平成26年度)	目標	30	31	32	33	34
		実績	30	32			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防サロン開設のための助成制度を開始し、新たに2か所サロンが開設されました。カフェやサロンは、介護予防だけではなく、地域での交流の場にもなっています。</li> <li>・社会福祉協議会等の協力により、地域で活動するサロン数は維持できています。</li> <li>・老人クラブへの助成や園芸広場を継続的に実施しており、生きがいづくりや地域での交流を促進しています。</li> <li>・地域の担い手不足を解消するため、認知症対応型カフェや介護予防サロン等で支援を行う地域お助けサポーター養成講座を年2回実施しています。</li> </ul>						介護予防サロンの様子 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・新たに2か所の介護予防サロンを増設したため、目標を1か所上回る計32か所での実施となりました。	—
	課題等	・平成29年度に27名の地域お助けサポーターを養成しましたが、実際にサポーターとして活動している方は3名と、少ない状況です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会をはじめとする地域団体やボランティアとの連携により、現在運営されている認知症対応型カフェ・介護予防サロン等の安定した事業継続と、関係機関との連携による活動内容の充実を図ります。</li> <li>・地域お助けサポーターの活動を支援するため、カフェやサロンの活動状況等について情報の把握を行い、活動の場の開拓や、支援が必要な個人・団体とのマッチングをすすめていきます。</li> </ul>

分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実
<b>5年後の目標</b>		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	老人福祉施設等整備事業		会計	款	項	目	0	高齢介護課
			一般	3	1	2		
事業の概要								
高齢者の生きがい・健康増進活動の拠点である老人福祉センター竹寿苑が、建築後40年以上経過し設備の老朽化が進んでいることから、介護予防などの機能を付加した新たな高齢者の福祉センターとして、移転も含めた再整備について検討を行います。								

平成29年度の取組								
D (取組)	指標	老人福祉センター再整備の検討					単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	平成28年度 新規事業	目標	共生型福祉施設構 想と併せた検討	共生型福祉施設構 想と併せた検討(※平成29 年度からの目標値)	共生型福祉施設構 想と併せた検討	共生型福祉施設構 想と併せた検討	共生型福祉施設構 想と併せた検討	
		実績	会議にて検討	会議にて検討				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生型福祉施設構想検討部会(全体会議)(年1回)及び共生型福祉構想検討部内会議(年2回)において、介護予防拠点として新たな高齢者の福祉センターを整備できるよう、市民のニーズや現在の利用状況等を整理し、移転も含めた再整備について検討を行い、京都府との調整の結果とニーズ調査の結果の報告を受けました。</li> </ul>					老人福祉センター外観 			

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生型福祉施設構想検討部会にて再整備について検討し、京都府との調整の結果とニーズ調査の結果の報告を受けました。</li> </ul>	—
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設として整備を検討しているため、引き続き関係部局と調整し、検討を進めていく必要があります。</li> </ul>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動) 1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係部局と調整し、共生型福祉施設構想検討部会にて再整備について検討を進め、平成30年度においては共生型福祉施設基本計画を策定し、基本構想案を検討していきます。</li> </ul>